

平成27年度

事業報告書

自 平成27年4月1日
至 平成28年3月31日

公益財団法人都市緑化機構

平成27年度 事業報告

我が国の都市部においては、行政が行う都市公園等の整備による新たな大規模緑地空間の創出が少なくなる中で、再開発等を通じた企業等の民間事業者による新たなみどりの創出が多く見られる状況にある。特に東京都心では平成32（2020）年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックを見据えた再開発事業が検討されるなど、民間事業者が創出するみどりへの期待が高まるとともに、創出されたみどりを既存のみどりや新たなみどりと連携させ、よりみどりを実感できる都市を構築し、持続的発展が可能な都市づくりとゆとりと潤いのある生活環境の実現が求められている。

また、近年の都市部におけるヒートアイランド現象の進行や大雨等の異常気象の要因の一つに緑地の減少が挙げられ、都市における「みどり」の保全・再生・創出への取り組みは喫緊の課題となっている。

こうした諸課題等に対して、みどり豊かな都市づくりや生活環境の実現を進めていくためには、「みどり」に関する技術・知識の普及や活動の支援などを通じて、広く都市住民や企業など多様な主体が参加する緑化活動を推進し、みどりの豊かさが実感できる社会を構築していく必要がある。特に、みどりの住民活動と企業活動を結びつける協働関係「みどりのわ」を構築し、都市のみどりを連携させることにより、大きな「わ」となる国民運動としていくことが重要である。

当機構は、公益財団法人として適切な運営に努め、安全で快適な都市環境の創造、人と自然が調和したみどり豊かな都市づくりに寄与すべく、平成27年度においては、次の事業を実施した。

1. 普及啓発事業

（1）全国都市緑化フェア

国民の緑化意識の高揚を図るため、愛知県との共催による第32回全国都市緑化あいちフェア「花と緑の夢あいち2015」を愛・地球博記念公園（愛知県長久手市）をメイン会場として、以下のとおり開催した。

主 催	愛知県、公益財団法人都市緑化機構
開 催 地	愛・地球博記念公園（長久手市）
開催期間	平成27年9月12日から11月8日まで（58日間）
入 場 者	73万人（サテライト会場を含めると203万人）

また、開催期間中、フェアにおける普及啓発催事の一環として、企業の長年にわたる緑地の保全管理を通じた社会貢献活動を顕彰した。

- トヨタ自動車株式会社 『トヨタの森』（愛知県豊田市）
- ソニーイーエムシーエス株式会社 幸田サイト『ソニーの森』（愛知県幸田町）
- 株式会社ノリタケカンパニーリミテド 『ノリタケの森』（愛知県名古屋市）

(2) 全国都市緑化祭

第32回全国都市緑化あいちフェアの中心的な行事として、秋篠宮同妃両殿下の御臨席のもと、平成27年度全国都市緑化祭を開催した。

主 催	国土交通省、愛知県、公益財団法人都市緑化機構
式典会場	愛知県立大学
開 催 日	平成27年10月1日(木)
式典概要	主催者挨拶 秋篠宮殿下おことば 表彰 ・出展庭園コンテスト ・みどりの社会貢献賞 生徒・児童による都市緑化宣言 閉会宣言 (式典終了後、記念植樹)

(3) 都市緑化キャンペーンの実施及び普及啓発ポスターの配布

市民の都市緑化意識の高揚を目的として、以下のとおり都市緑化キャンペーンを開催した。また、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により普及啓発ポスターを作成、配布した。

○ 都市緑化キャンペーン

主 催	都市緑化推進運動協力会 企画運営：公益財団法人都市緑化機構
実 施 日	平成27年10月9日(金)
会 場	有楽町駅前広場(東京都千代田区)
概 要	全国都市緑化フェア等のパネルの掲出 花苗1,100鉢の配布
参加者数	約3,000人

○ 普及啓発ポスター

時 期	「春季における都市緑化推進運動」(4月1日～6月30日) 「都市緑化月間」(10月1日～10月31日)
配布枚数	各12,000枚
配 布 先	国、地方公共団体、緑化関係団体、日本商工会議所の会員、日本民営鉄道協会加盟の私鉄各社など920団体及びその関係団体

(4) その他の協賛等

平成27年度「都市緑化月間」(10月1日～10月31日)をはじめ、国や緑化関係団体等が行う緑化に関する諸行事に対する後援、協賛を行った。

2. 顕彰事業

(1) 緑の都市賞

明日のみどり豊かな都市づくり・街づくりをめざし、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、緑のリサイクル等に先進的、意欲的に取り組み、緑化や緑の保全に良好な成果をあげている市民団体、企業、地方公共団体等を顕彰している。

第35回「緑の都市賞」は、審査委員会（平成27年9月3日（木）及び9月28日（月）開催。委員長：権山紘一 印刷博物館館長）を経て、以下の10件が受賞した。

賞	部門	受賞者
内閣総理大臣賞	緑の市民協働	泉佐野丘陵緑地パーククラブ／大輪会 「泉佐野丘陵緑地」（大阪府泉佐野市）
国土交通大臣賞	緑の市民協働	千里竹の会 「桃山公園内の竹林等」（大阪府吹田市・豊中市）
	緑の事業活動	「大手町の森」（東京都千代田区） 東京建物株式会社 ほか
	緑の事業活動	「柏の葉ゲートスクエアおよび柏の葉キャンパス駅西口駅前広場・西口駅前通り」（千葉県柏市） 柏の葉アーバンデザインセンター ほか
都市緑化機構会長賞	緑の市民協働	公益財団法人 鎌倉風致保存会 「御谷山林、笹目緑地、十二所果樹園、旧板井邸緑地」（神奈川県鎌倉市）
	緑の事業活動	「ECO35」（愛知県名古屋市） 株式会社三五
	緑のまちづくり	新潟市（新潟県）
奨励賞	緑の市民協働	南大塚都電沿線協議会 「大塚バラロード」（東京都豊島区）
	緑の事業活動	「J A長野厚生連佐久総合病院佐久医療センターいきいきの森」（長野県佐久市） 長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院佐久医療センター ほか
	緑のまちづくり	豊田市（愛知県）

(2) 屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール

都市のヒートアイランド現象の緩和、省資源・省エネルギーの推進、生物多様性の確保等都市環境の改善に資するため、過密化する都市に残る貴重な未利用空間である建築物等の屋上や壁面、人工地盤や駐車場などの特殊空間における緑化に関する優れた技術、作品を顕彰している。

第14回「屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」は、審査委員会（平成27年8月18日（火）開催。委員長：山田宏之 大阪府立大学大学院教授）を経て、以下の10件が受賞した。

賞	部 門	受 賞 者
国土交通 大臣賞	屋上緑化	「東京スクエアガーデン」(東京都中央区) 東京建物株式会社 ほか
	壁面・特殊緑化	「東京駅八重洲口開発グランルーフ」(東京都千代田区) 東日本旅客鉄道株式会社 ほか
環境大臣賞	屋上緑化	「農大アカデミアセンター屋上緑化」(東京都世田谷区) 東京農業大学 ほか
	壁面・特殊緑化	「セトレマリーナびわ湖ヤンマーマリーナホテル」(滋賀県守山市) セイレイ興産株式会社 ほか
日本経済 新聞社賞	屋上緑化	「日本ヒューレット・パッカード株式会社本社ビルスカイガーデン」 (東京都江東区) 日本ヒューレット・パッカード株式会社 ほか
	壁面・特殊緑化	「日土地虎ノ門ビル」(東京都港区) 日本土地建物株式会社 ほか
都市緑化機構 会長賞	屋上緑化	「あべのハルカス」(大阪府大阪市) 近鉄不動産株式会社 ほか
	壁面・特殊緑化	「VENT VERT」(東京都港区) 大和リース株式会社 ほか
審査委員会 特別賞	屋上緑化	「屋上の芝生園庭、千住寿幼稚園」(東京都足立区) 学校法人芦田学園 ほか
	屋上緑化	「FACTORY IN THE EARTH/JST MALAYSIA」(マレーシア・ジョホール州) J. S. T. CONNECTORS (MALAYSIA) SDN. BHD. ほか

(3) 全国花のまちづくりコンクール

花のまちづくりを普及させるため、花のまちづくりコンクール推進協議会(公益財団法人日本花の会、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会、一般財団法人日本花普及センター、公益財団法人都市緑化機構により構成)の主催により、花によるまちづくりの優れた取り組みを顕彰している。

第25回「全国花のまちづくりコンクール」は、審査委員会(平成27年9月25日(金)開催。委員長:比嘉照夫 名桜大学名誉教授)を経て、以下の90件が受賞した。

賞	部 門	受 賞 者	
花の まち づくり 大賞	農林水産大臣賞	団 体	花いっぱい運動推進グループ、NPO法人長崎鼻B・K ネット(大分県豊後高田市)
		団 体	NPO法人花と緑のまちづくり 高槻景観園芸クラブ (大阪府高槻市)
	国土交通大臣賞	市町村	三島市(静岡県)
		団 体	南大塚都電沿線協議会(東京都豊島区)

賞	部門	受賞者
花のまちづくり優秀賞	団体	大湯「パンジーの会」(秋田県鹿角市)
	団体	NPO法人渋川広域ものづくり協議会(群馬県渋川市)
	団体	吹込クローバーの会(神奈川県川崎市)
	団体	社会福祉法人浄英会 恵和保育園(新潟県長岡市)
	団体	富丘広野花の会(静岡県磐田市)
	団体	宝塚フラワー会(兵庫県宝塚市)
	団体	一里山地区ふるさとづくり推進協議会(宮崎県宮崎市)
	個人	天野 和幸(静岡県浜松市)
	個人	大山 節子(香川県高松市)

- 花のまちづくり奨励賞 花のまちづくりコンクール審査委員会賞 [10件]
- 花のまちづくり入選 [63件]
- 花のまちづくり努力賞 [4件]

3. 助成事業

(1) 緑の環境デザイン賞

みどり豊かな都市環境の形成を図るとともに、人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成を目指し、地域の美しい景観を形成すると同時に人と自然が共生する都市環境の形成に寄与する優れた緑化プランを顕彰し、その実現のための助成を第一生命保険株式会社との共催により実施している。

第26回「緑の環境デザイン賞」は、審査委員会(平成27年9月15日(火)開催。委員長:進士五十八(東京農業大学名誉教授))を経て、以下の5団体に対して、約4000万円(1団体あたり約800万円)の助成を決定し、併せて、「緑の環境デザイン賞特別企画」として、「おもてなしの庭」プランを東京都内限定で募集し、「おもてなしの庭大賞」1件、「おもてなしの庭特別賞」1件を選定し、それぞれ、2020万円、220万円の助成を決定した。

■第26回緑の環境デザイン賞受賞作品

賞	受賞者	緑化場所
国土交通大臣賞	恵み野商店会	恵み野商店街「ガーデンギャラリー」の創出 (北海道恵庭市)
	特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島	水の山・富士山力を実感「三島・緑と水の杜・ 三島梅花藻の里」整備構想(静岡県三島市)
第26回 緑化大賞	こよなく北三番丁公園を愛する会	北三番丁公園「Healing Flower Garden(癒しの花園)」(宮城県仙台市)
	特定非営利活動法人 メリーポピンズの会	中山ちどり屋上庭園リニューアル事業 (兵庫県宝塚市)
	社会福祉法人浄水会 平尾保育園	平尾の森(福岡県福岡市)

■緑の環境デザイン賞特別企画「おもてなしの庭」受賞作品

賞	受賞者	緑化場所
大賞	特定非営利活動法人 京橋川再生の会	京橋大根河岸おもてなしの庭(東京都中央区)
特別賞	三菱地所株式会社	ホトリア広場～交流の森～(東京都千代田区)

(2) 花王・みんなの森づくり活動助成

次世代にみどり豊かな環境を引き継ぐとともに、みどりとのふれあいを通して、子どもたちの心身の健やかな成長を図ることを目的として、身近な緑を守り、育てる活動と子どもたちがみどりとふれあう機会を創出する活動に取り組む市民団体の支援を花王株式会社との共催により実施している。

支援の期間は3年間で、1団体あたり初年度50万円、2年目50万円、3年目25万円の総額125万円を上限に助成を行っている。

平成27年度は、選考委員会(平成28年1月22日(金)開催。委員長:蓑茂壽太郎 東京農業大学客員教授)を経て、以下の15団体を新たに支援対象として決定したほか、2年目継続20団体、3年目継続17団体に対する支援を行った(いずれも全ての団体が助成を継続)。

■平成27年度花王・みんなの森づくり活動助成新規助成決定団体

活動場所	団体名	活動名
北海道 当別町	特定非営利活動法人 新山川草木を育てる集い	「当別22世紀の森」における成林基盤の構築 とフィールド整備事業
山形県 上市市	葉山町づくり委員会	クアオルト“葉山全部がおらだの庭だ”プロ ジェクト

活動場所	団体名	活動名
埼玉県 長瀨町	特定非営利活動法人 長瀨町桜と松等を守る会	観光と桜・松・楓等のみんなの森づくり
千葉県 市原市	ふれあい千葉	東国吉「ふれあいの森」の整備及びその周辺の 森林、里山の整備活動
富山県 射水市	特定非営利活動法人自然環境ネット ワーク・射水市ビオトープ協会	生物多様性豊かな森の形成とその活用
三重県 四日市市	みえ北里山づくりの会	持続可能な里山保全活動へのチャレンジ
京都府 大崎町	久保川と天王山の森を守る会	命をつなぐ森作り
兵庫県 神戸市	特定非営利活動法人 豊かな森川海を育てる会	子ども達の目が輝く 都会の楽しい里山づくり
沖縄県 竹富町	西表在来植物の植栽で地域振興を 進める会	在来海浜植物を用いたイリオモテヤマネコの 交通事故防止と景観改善
千葉県 いすみ市	NPO太東埼燈台クラブ	<small>たいとうさき</small> 太東埼周辺の里森づくり
静岡県 湖西市	湖西フロンティア倶楽部	<small>おおちば</small> 大知波里山体験の森づくり
京都府 綾部市	里山的暮らしECOTASKTEAM	里山で遊ぶ、里山と遊ぶ
兵庫県 神戸市	山田の里グリーンクラブ	「山田の里・学習の森」の活用
兵庫県 川西市	森林ボランティア菊炭友の会	「自然体験学習」によるクヌギの植樹と自生の 桜・エドヒガン群落の保全
広島県 大竹市	非営利活動法人もりメイト倶楽部 H i r o s h i m a	「もりメイトキッズ」子ども森林ボランティア の育成

(3) フラワーポール等普及事業

良好な都市空間の創造や子どもからお年寄りまで誰もが利用しやすい公園等の整備、都市の環境問題の改善に寄与するため、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により、安全性や耐久性のほかデザイン性や維持管理などの面で優れた機能を有するユニバーサルデザイン施設等を都市公園等の公共施設に提供している。

平成27年度は、応募のあった26団体に対して、テーブル・ベンチセット、水飲み場、高齢者対応ベンチ等のユニバーサルデザイン施設64基を提供した。

都道府県：新潟県、石川県、群馬県

政令市：仙台市、千葉市、神戸市、堺市、福岡市

その他市町村：八戸市、横手市、前橋市、多治見市、武蔵野市、焼津市、袋井市
長野市、一宮市、福山市、橿原市、東広島市、三原市、大分市、
富里市、加賀市

公園関係団体：(一財)公園財団、(一財)沖縄美ら島財団

(4) 被災地の花・みどり提供事業

東日本大震災の被災地において、緑とのふれあいによって仮設住宅等での避難生活を余儀なくされる被災者の心のケアや仮設住宅地での新たなコミュニティを生み出すきっかけとなることを願って、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により岩手県、宮城県、福島県等に建設された被災者のための仮設住宅等に向けて、花苗とプランターを提供している。

平成27年度は、応募のあった15団体の70箇所の仮設住宅や災害公営住宅、公園等に計785基を提供した。

青森県：八戸市

岩手県：大船渡市、釜石市、大槌町、野田村

宮城県：仙台市、東松島市、白石市、大和町

福島県：須賀川市、相馬市、本宮市、川俣町、矢吹町、三春町

4. 調査、研究及び技術開発及びこれらの成果の普及

都市緑化の技術や知識を普及し、都市における自然環境の保護及び整備、安全でうるおいのある生活環境の形成を図るため、自主研究、共同研究、受託研究等の方法により、都市緑化における緑地の保全、再生及び創出、良好な緑化空間の創出、植栽植物の育成及び管理等に関する調査・研究及び技術開発に取り組んだ。

平成27年度における主な活動は、次のとおりである。

(1) 共同調査研究

① 特殊空間緑化に関する調査研究

関連学会等における特殊緑化技術に関する研究活動と、本研究参加者の研究活動への理解を深めるため「平成27年度 特殊緑化に関する研究発表会」を実施した。

また、防災緑化型駐車場の普及啓発活動を一般社団法人自走式駐車場工業会と共同で実施したほか、緑化技術開発として「傾斜屋根緑化実験及びつる植物土壌量適性実験」、「団地内における狭矮な植栽基盤によるフェンス緑化植物の生育に関する実証研究」を実施した。

② 公園緑地における防災技術に関する調査研究

平成27年2月に発行した「防災公園技術ハンドブック 防災公園・施設 資料集」の普及活動を行うと共に、近年の研究成果を発表するセミナーを大阪で開催した。

また、国土交通省が平成27年度に「防災公園 計画・設計ガイドライン」を改訂したこと等を踏まえて、以前に発行した防災公園技術ハンドブックの改訂に向けた検討作業を進めた。そのほか、防災公園に関する先進事例調査を実施した。

③ ユニバーサルデザインに関する調査研究

これまで研究を行ってきた「都市公園におけるバリアフリーチェックシート（第1版）」をウェブサイトで公表した。また、都市公園におけるユニバーサルデザインに関する書籍の発行に向けての検討を行った。

④ グランドカバー・ガーデニングに関する調査研究

東京都が推進する校庭芝生化事業を支援するとともに、地域性系統緑化の植物材料の生産や利用の実態を把握するための情報収集を行った。

さらに、2020年のオリンピック・パラリンピックのマラソンコースになると想定されている、中央区京橋・室町の中央通り（国道4号、15号）の沿道花壇を題材に、地元小学生に花壇デザイン・花苗の植え付けに参画するプログラムを実施するなど、ガーデニングの普及につながる活動を行った。

⑤ 都市の緑環境に関する調査研究

「造園家が考える緑の墓園」の考え方の普及のためのパンフレットを作成するとともに、「マンションのみどり改善ガイド」の作成・配布を行った。このほか、「植物性発生材の土壌への炭素固定効果」について学会発表を行った。

⑥ 都市環境の保全、育成、創造に関する調査研究

単に緑の空間の創造にとどまらず、その利用方法や維持管理手法の提案の検討を行った。雨水貯留浸透槽用充填材及び埋戻し材の植栽基盤としての利用可能性を調べるための樹木植栽実験等を行った。

(2) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

① 都市緑化による環境の創造、改善に関する調査研究及び技術開発

- ・都市緑化等による温室効果ガス吸収源対策等の推進等に関する調査
- ・H27年国営ひたち海浜公園利用者満足度調査外業務
- ・H27年昭和・武蔵・有明公園施設改修検討他業務
- ・都市地域におけるみどりによる防災・減災対策の推進調査

② 都市における新たな緑化空間の創出に関する調査研究及び技術開発

- ・屋上緑化等に関する実績分析及び技術推進方策検討調査
- ・特殊空間緑化ガイドライン策定検討調査

③ 都市における緑化を推進するための植栽植物の育成、管理に関する調査

- ・東京都公立幼稚園・小中学校、私立幼稚園・認可保育所の芝生化に対する技術支援

④ 国・地方公共団体による都市緑化、企業による緑地創出、市民・企業参加の花と緑のまちづくり等の推進に関する調査研究

- ・国際園芸博覧会出展による造園緑化技術の海外展開調査
- ・日本庭園の普及啓発等に関する検討調査業務
- ・八王子市全国都市緑化フェア基本構想策定支援業務委託
- ・全国都市緑化やまぐちフェア基本構想策定業務委託
- ・東京都心部における民間開発と連携した効果的な緑の配置・ネットワークに関する調査

(3) 科学技術研究

平成27年度に科学技術研究費助成事業（科研費）に新規採択された以下の研究を実施した。また平成26年度までに採択された研究課題の成果を学術論文として公表するとともに国際会議でも発表した。

- ・研究課題名：アーバン・クール・スポットを創出する都市樹木の最適な樹冠形状の効果検証
- ・学術論文名：ライシメーター法とポロメーター法を用いた単葉からの実大樹木蒸散量推定の可能性の検討 日本緑化工学会誌41(1) P181～P186
- ・国際会議名：The 2015 World Green Infrastructure Congress (WGIC2015 世界屋上緑化会議名古屋大会 2015年10月)

(4) 都市緑化フォーラム2015

以下のとおり「都市緑化フォーラム2015」を開催し、調査研究等の成果について発表を行った。

会 場	日比谷コンベンションホール
開催日時	平成27年12月14日（金）13:00～16:30
テ ー マ	みどりが創る都市の未来
基調講演	都市のグリーンインフラストラクチャー 木下 剛 千葉大学 准教授
研究発表	・都市のオアシスにおける取組み 企画調査部 田代 隆一
	・都市緑化技術の向上に向けた取組み 特殊緑化共同研究会 橋 大介
	・「防災公園技術ハンドブック」の改訂等について 防災公園とまちづくり共同研究会 石川 純
	・各種芝生地の管理上の課題と対策 グラント・カー・ゲーティング共同研究会 秋篠 周太郎
	・新規出版物の発行を踏まえた調査研究活動の成果 エンバーサルデザイン共同研究会 中野 竜
	・海外における植物を活用した豪雨貯留浸透施設の整備状況報告 グリーンビジネス・マネジメント共同研究会 屋井 裕幸
	・みどりと暮らしのより良い関係を目指して 造園新領域共同研究会 西山 秀俊
	・色度緑視率による都市緑化の快適性評価 都市緑化技術研究所 外崎 公知

5. 評価事業

(1) 社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）による評価

社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）とは、緑をまもり育てる活動を通じて社会や環境に貢献している企業の緑地を対象に、特に優れた取組みを評価・認定する制度である。

- ① 民間が所有する土地で緑地の保全・創出活動に取り組んでいる企業等の取組みを認定する「既存緑地版」（そだてる緑）について、平成27年度は以下のとおり更新審査を3件（表中★印）、維持審査を16件実施した。

（平成27年度末現在の認定数は19サイト。認定後は更新審査（3年ごと、現地審査）と維持審査（毎年、書類審査）を実施。）

■既存緑地版認定サイト

認定企業：サイト	所在地	認定年度
三井住友海上火災保険株式会社 駿河台ビル及び駿河台新館	東京都千代田区	2005
トヨタ自動車株式会社 トヨタの森	愛知県豊田市	2005
アサヒビール株式会社 神奈川工場	神奈川県南足柄市	2005
ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社 幸田サイト	愛知県額田郡幸田町	2005
花王株式会社 和歌山工場	和歌山県和歌山市	2005
シミックCMO株式会社 足利工場	栃木県足利市	2005
富士通株式会社 沼津工場	静岡県沼津市	2006
★ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 大分テクノロジーセンター	大分県国東市	2007
サンデンホールディングス株式会社 サンデンフォレスト・赤城事業所	群馬県前橋市	2008
西武鉄道株式会社 「飯能・西武の森」	埼玉県飯能市	2008
立正大学 熊谷キャンパス	埼玉県熊谷市	2008
出光興産株式会社 千葉製油所・千葉工場および出光会館	千葉県市原市	2008
株式会社グリーン・ワイズ 本社緑地	東京都多摩市	2008
★出光興産株式会社 北海道製油所	北海道苫小牧市	2010
★出光興産株式会社 愛知製油所	愛知県知多市	2010
日産自動車株式会社 日産テクニカルセンター・日産先進技術開発センター	東京都中央区	2011

認定企業：サイト	所在地	認定年度
ダイキン工業株式会社 ダイキンアレス青谷	鳥取県 鳥取市	2011
株式会社ディスコ広島事業所 桑畑工場	広島県 呉市	2012
株式会社晴海コーポレーション 晴海アイランドトリトンスクエア	東京都 中央区	2014

② 都市開発・建築行為の計画に関し、良好な緑空間を創出し、社会・環境に貢献する緑の計画であることを認定する「都市開発版」（つくる緑）について、平成27年度は以下の2サイトを認定した。

■都市開発版（平成27年度認定サイト）

認定サイト	事業者名	所在地
横浜野村ビル計画	野村不動産株式会社	神奈川県 横浜市
赤松町土地区画整理事業	関電不動産開発株式会社／東京建物シニアライフサポート株式会社／株式会社クリエイト エス・ディー	神奈川県 茅ヶ崎市

③ 公開性・安全性・環境への配慮等の基準を満たす民間事業者所有の緑地を認定する「都市のオアシス」（たのしむ緑）について、平成27年度は以下の12サイトを新たに認定した。（平成27年度末の認定数は35件、3年ごとに更新）

■都市のオアシス（平成27年度新規認定サイト）

認定サイト	事業者名	所在地
京王リトナード永福町ふくにわ	京王電鉄株式会社	東京都 杉並区
渋谷園芸本社 櫨の森	株式会社渋谷園芸	東京都 練馬区
玉川高島屋ショッピングセンター	東神開発株式会社	東京都 世田谷区
大手町タワー大手町の森	東京建物株式会社	東京都 千代田区
フレスポ稲毛	大和リース株式会社	千葉県 千葉市
恵比寿ガーデンプレイス	サッポロ不動産開発株式会社	東京都 渋谷区
深川ギャザリア	株式会社フジクラ	東京都 江東区
ノリタケの森	株式会社ノリタケカンパニー・リミテド	愛知県 名古屋
三越銀座店 屋上 銀座テラス	株式会社三越伊勢丹	東京都 中央区
コクーンシティ	片倉工業株式会社	埼玉県 さいたま市

認定サイト	事業者名	所在地
西武池袋本店 食と緑の空中庭園	株式会社そごう・西武	東京都豊島区
東京スクエアガーデン	東京建物株式会社	東京都中央区

(2) 都市緑化技術の審査・証明

都市緑化技術の審査証明は、民間企業等において開発された新技術の有効性を審査、証明し、国や地方公共団体に情報提供することにより、新技術の活用を促進し、都市の緑化に係わる公共工事の質の向上や効率的な運用等に寄与することを目的としており、平成27年度は次の1件の審査証明の更新を行った。

- ・超微多孔セラミックス材を用いた屋上緑化基盤「グリーンビズ-G」

6. 人材の育成、情報の発信、国際協力等

(1) 調査研究活動への支援

大学院生等の若手研究者による都市緑化に関する調査、研究及び技術開発を奨励するため、優れた研究テーマに対して助成を行うことにより、次世代を担う若手研究者の育成を図っている。

平成27年度は、以下の研究機関に所属している5名の若手研究者の調査研究活動に対して、総額50万円の支援を行った。

所属研究機関	研究テーマ
大阪府立大学大学院	エネルギー収支の観測に基づく都市緑地がもたらす気象緩和機能の定量化
東京都市大学大学院	日本型生物多様性バンキング“里山バンキング”対象地のHEPを用いた計画デザイン手法に関する研究
東京農工大学大学院	東京五輪選手村の熱的快適性と省エネの両立を実現する緑化計画および建物配置に関する研究
室蘭工業大学大学院	住民の評価構造に基づく「緑のリサイクル」に着目した低炭素・循環型の都市環境整備に関する研究
横浜国立大学大学院	窓面緑化が執務者の不快グレアに及ぼす影響

(2) 都市緑化技術研修会の実施

都市のみどりに関わる実務者や技術者の能力向上、都市緑化技術に関する情報の提供及び技術の普及等を目的として、以下のとおり都市緑化技術研修会を開催した。

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
 開 催 日 平成28年1月14日(木)～15日(金)
 参 加 者 39人

- テーマ みどりが創る 安全で魅力のある まちづくり
- 講義
- ・「公園緑地・都市緑化行政の動向」
町田 誠 国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室長
 - ・「豪雨災害・津波災害と災害情報とその利活用に関する対策」
牛山 素行 静岡大学防災総合センター教授・副センター長
 - ・「みどりによる市街地内の延焼遅延効果の発揮方法」
二神 透 愛媛大学防災情報研究センター准教授
 - ・「公園緑地における安全への取組ー防災緑化型立体駐車場の提案ー」
高津 充良 (一社) 日本自走式駐車場工業会 専務理事
 - ・「東京都における緑の保全・創出を通じた魅力あふれるまちづくり」
小野 敏正 東京都 都市整備局 緑地景観課長
 - ・「海外における魅力ある都市環境デザインとみどり」
西田 正徳 西田正徳ランドスケープ・デザイン・アトリエ代表
- 現地視察 品川シーズンテラス

(3) 機関誌の発行

優れた緑化の取り組み事例や都市緑化技術等に関する最新情報の発信及び調査研究成果の発表等を内容とする機関誌「都市緑化技術」を発行している。

平成27年度は以下のとおり発行した。

- No. 96 「みどりの市民活動」
- No. 97 「防災とオープンスペース」
- No. 98 「ユニバーサルデザイン」
- No. 99 「緑を守り街を育てる… 緑化推進の取り組みとみどりの基金の役割」

発行部数 (各号) 2,000部

配布箇所数 (各号) 1,000箇所

(4) 造園CPDプログラムへの登録

都市のみどりに関わる技術者の緑化技術の向上等を目的として、造園CPD協議会に参加し、主催する以下の事業について造園CPDプログラムへの登録を行った。

- ・都市緑化フォーラム2015
- ・平成27年度 都市緑化技術研修会
- ・防災研セミナー「緑の震災復興を考える・大阪」

(5) 海外技術調査及び国際協力

平成28年4月23日から、トルコ共和国アンタルヤ県で開催される「アンタルヤ国際園芸博覧会」への政府屋外出展（日本庭園）に対して協力を行った。特に、「2016年アンタルヤ国際園芸博覧会日本庭園出展実行委員会」の事務局として、博覧会機構、関係団体、協賛企業等との連絡調整を行った。

また、海外における都市緑化技術等に関する調査研究及び国際交流を目的として、世界屋上緑化会議名古屋大会(WGIC名古屋2015、平成27年10月13日から16日)において研究発表を実施した。このほか、平成28年3月22日に機構を訪問した「中国福建省園林緑化研修団」(20名)に対し、日本の都市緑化事情について説明し意見交換を行った。

(6) 植樹保険制度の活用支援

植樹保険の団体保険契約者として、公共植栽工事において枯損した樹木等の植替えが円滑かつ速やかに行われるよう、植栽工事請負者に対する制度の活用支援を行っている。平成27年度における植樹保険の付保件数は436件であった。

(7) その他の協力等

都市緑化基金等連絡協議会(会員数53団体)の活動に事務局として協力した。また、全国花育推進協議会の活動に協力した。

7. 会議の開催

次のとおり理事会、評議員会を開催した。

(1) 理事会

- ・平成27年5月20日(水) 第8回通常理事会
議案 平成26年度事業報告及び収支決算(案)について
定時評議員会の開催について
- ・平成27年6月19日(金) 第9回臨時理事会
議案 会長、理事長及び専務理事の選定について
- ・平成27年12月17日(木) 第10回臨時理事会
議案 特定個人情報取扱規程の制定について
関連規程等の整備について
利益相反取引について
- ・平成28年3月18日(金) 第11回通常理事会
議案 平成28年度事業計画及び収支予算について
平成28年度資産運用方針について
顧問の選任について

(2) 評議員会

- ・平成27年6月19日(金) 第3回定時評議員会
議案 平成26年度収支決算(案)について
任期満了に伴う理事の選任について

8. 理事の異動

① 平成27年6月19日付け

退任 小口健蔵、田代順孝

新任 石川幹子、上杉俊和、山口博喜

再任 池田浩之、輿水肇、砂田健次、高尾典秀、高梨雅明、林輝幸、宮下和正、
矢野龍、渡辺伸一

② 平成28年3月31日付けで砂田健次理事及び渡辺伸一理事が辞任した。

※平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。